



2026年8月4日
四国通建株式会社

アシックス里山スタジアム（FC今治）の増席お披露目会が執り行われました

2026年8月4日（火）、当社が施工を行ったアシックス里山スタジアム（FC今治）の増席工事完了に伴い、お披露目会が執り行われました。本工事は、南北両ゴール裏を中心に3,532席を増設し、収容人数は、これまでの5,316人から8,848人へと大きく生まれ変わりました。

<工事概要>

案件名：アシックス里山スタジアム増席工事

発注者：株式会社今治 夢ビレッジ

受注者：RN建設・四国通建特定建設工事共同企業体

工事場所：愛媛県今治市高橋ふれあいの丘1番3号

工期：2025年12月15日～2026年7月31日

工事内容：アシックス里山スタジアム座席増席（3,532席増席）

増席場所：南・北ユニットスタンド、各コーナースタンド

施工担当者：社会インフラ事業本部 建設部 村上公一



（完成写真）



(着工前)

<施工について>

本工事は、FC今治（岡田武史会長）のホームスタジアムである「アシックス里山スタジアム」の座席数を増設する工事です。本スタジアムは「成長していくスタジアム」というコンセプトを掲げ2023年シーズンに合わせて開設されましたが、今回、FC今治のJ2昇格に伴うスタジアム規格への拡張に向け、Jリーグの「秋春制」移行（移行期間の約7ヶ月間を活用）というタイミングをとらえ、増席工事を行うこととなりました。

本スタジアムは「365日人が集う場所」として、平日はドッグランや散歩、ランニングなどで日常的に地域の方々が利用され、また、ホームゲームが2週間に1度開催されるほか、平日にはトップチームの練習も行われることから、“既存の機能を維持しながら施工を進めること”が絶対条件であったため、関係者や地域住民の方々、チームの動線をしっかりと確保しながら安全に施工を進めることが、最も工夫し、同時に苦心したポイントでした。



(増席お披露目会)

左から

株式会社今治、夢スポーツ 代表取締役社長 矢野将文様

株式会社 NINO アートディレクター 二宮 太一 様

RN建設株式会社 代表取締役社長 永尾 秀司 様

今治市長 徳永 繁樹 様 代理 今治市参与 森 聖二 様

株式会社 梓設計 専務執行役員 永廣 正邦 様

四国通建株式会社 代表取締役社長 高木 康弘

株式会社 ライオン広告舎代表取締役社長 矢野 和弘 様



(北側ユニットスタンド完成)



(南側ユニットスタンド完成)



(ユニットスタンド通路)

メインスタンド以外に屋根がないスタジアムのため、ユニットスタンド通路は、サポーターの皆様が雨風を避けたり、ホッと一息ついたりできる「大切な憩いの場所」になります。

今回、地域に根ざす企業として、本施工に携われたことに大きな誇りと責任を感じるとともに、「アシックス里山スタジアム」が、益々、人と人がつながり、地域が活気づく『場』となるよう、引き続き応援してまいります。